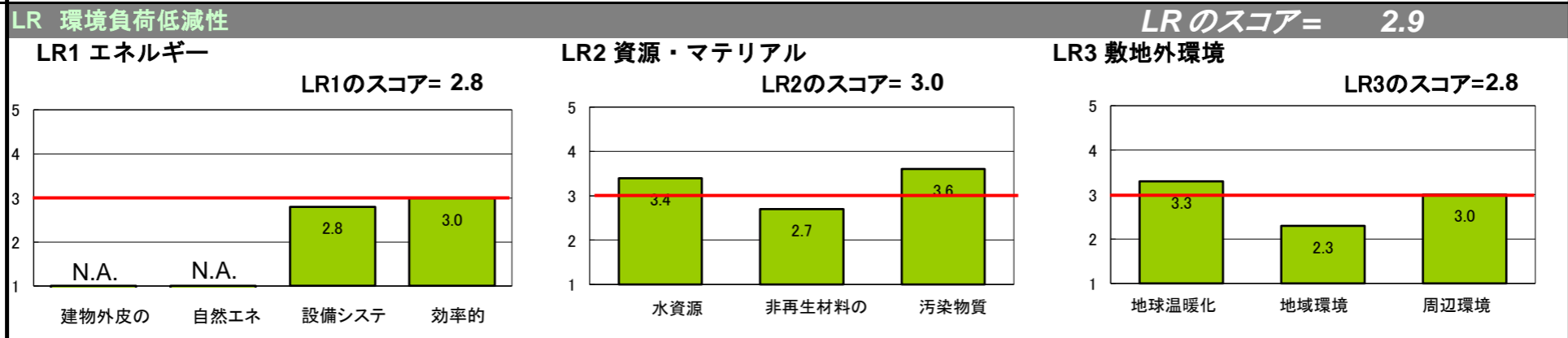
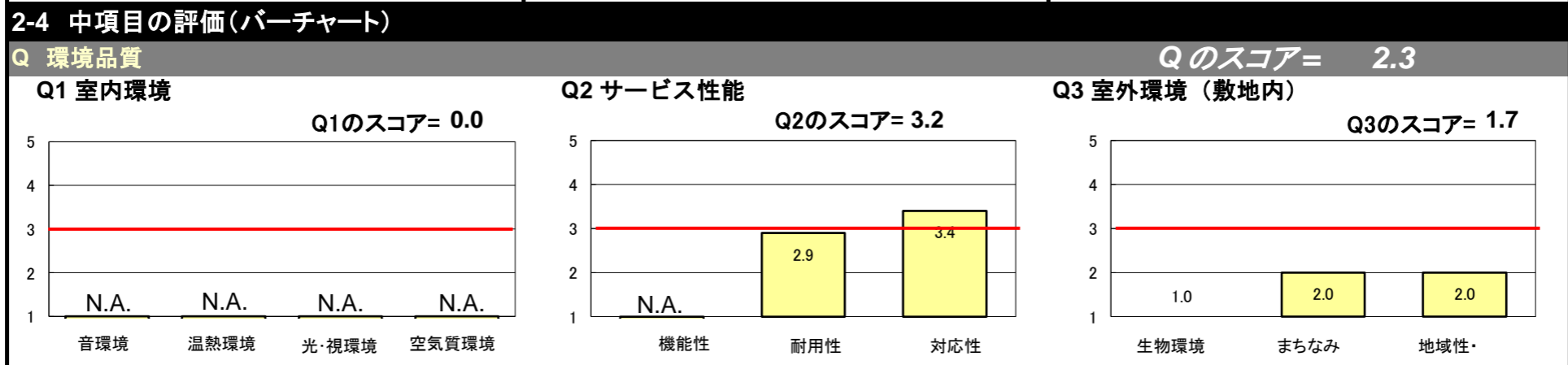
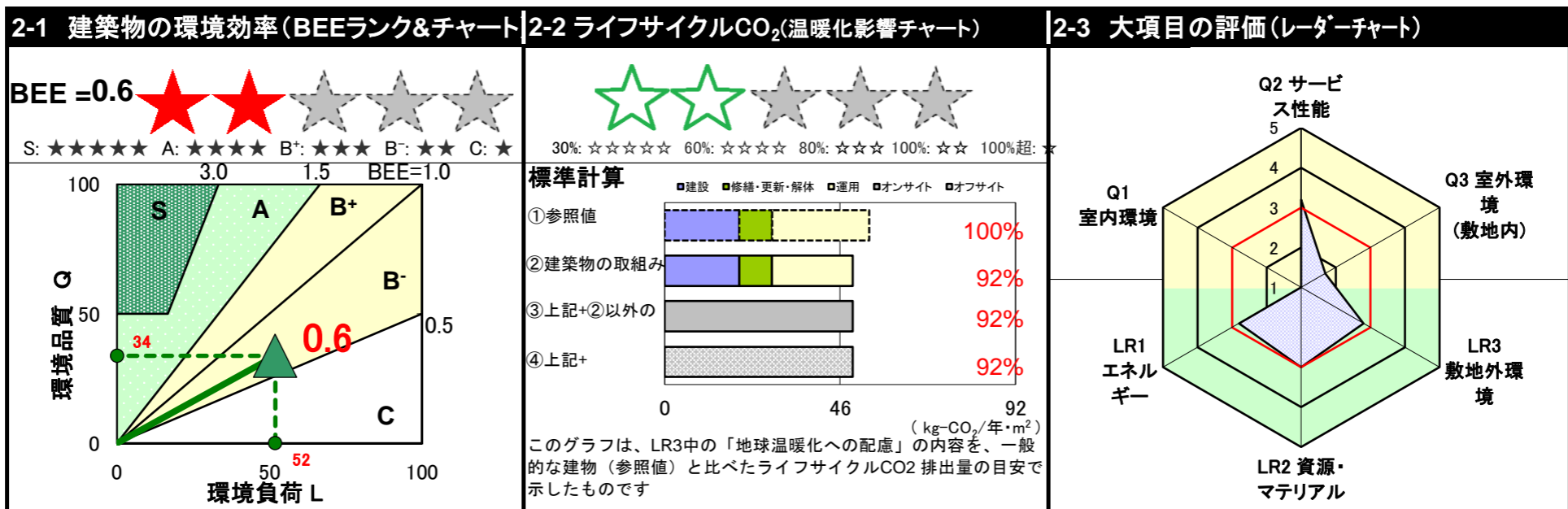
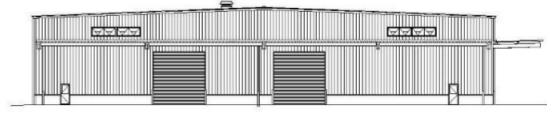


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社タイセイプラス津島工場	階数	1
建設地	愛知県津島市宇治町字小船戸30番、31番、32番、33番、34番、35番、36番	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	150人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2020年9月 予定	評価の実施日	2020年4月8日
敷地面積	4,982 m ²	作成者	木村 隆
建築面積	3,170 m ²	確認日	2020年4月10日
延床面積	2,930 m ²	確認者	木村 隆



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.3</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>10.2 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.0</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体		
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		3.0	-	-	-	-	-	-		
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 外皮性能		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備		3.0	-	-	-	-	-	-		
3.2 グレア対策										
1 昼光制御		5.0	-	-	-	-	-	-		
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質		3.0	-	-	-	-	-	-		
4.2 換気										
1 換気量		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	-	-	3.0	-	-	-		
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画	独自	3.0	-	-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	-	-	-		
3 内装計画		3.0	-	-	-	-	-	-		
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48	-	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80	-	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数		0.3	3.0	0.33	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	-	3.0	0.23	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	3.0	0.09	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	3.0	0.08	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	3.0	0.15	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		-	3.0	0.23	-	-	-	-		
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備		0.1	2.8	0.19	-	-	-	-		
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
3 電気設備		3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
4 機械・配管支持方法	②	3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
5 通信・情報設備		3.0	2.0	0.20	-	-	-	-		

3 対応性・更新性			0.4	3.4	0.48	-	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			0.3	4.6	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	②	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	3.0	-
2	空間の形状・自由さ								
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	3.0
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	-
1	空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	-	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	-	-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化			3.0	2.8	0.71	-	-	-	2.8
4 効率的運用			0.2	3.0	0.29	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	3.0	-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制		-	3.0	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.0
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			3.0	4.0	0.40	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60	-	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.67	-	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	3.0	0.33	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	2.7	0.63	-	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	3.0	1.0	0.21	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	3.0	4.0	0.25	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	4.0	0.68	-	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		-	5.0	0.50	-	-	-	-
3	冷媒		3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		①		3.3	0.33	-	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			0.3	2.3	0.33	-	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.2	0.25	-	-	-	-
1	雨水排水負荷低減	独自	-	3.0	0.25	-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25	-	-	-	-
3	交通負荷抑制	独自	-	2.0	0.25	-	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		-	1.0	0.25	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1	騒音	独自	-	3.0	1.00	-	-	-	-
2	振動	独自	-	-	-	-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1	風害の抑制		-	3.0	0.70	-	-	-	-
2	砂塵の抑制		-	3.0	-	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		-	3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20	-	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70	-	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30	-	-	-	-

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10
② 資源の有効活用			3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.21
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19
③ 敷地内の緑化			1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17
			外構緑化:10.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社タイセイプラス津島工場

計画上の配慮事項	
総合	柱等の極力少ない構造とすることで内部は自由な大空間となり、設備の配置の自由度を上げ、効率の良い作業動線を実現できるよう配慮した。
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能	高い階高や、自由度の高い大空間によりゆとりある空間とし更新性に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	道路沿いを緑化することで周辺の景観に配慮した。
LR1 エネルギー	照明にLEDを採用し設備システムの効率化に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	トイレの洗面に自動水栓を採用し、便器は省水型とすることで水資源保護に配慮した。
LR3 敷地外環境	管理用、荷捌用車両の駐車スペースを確保することで周辺の交通負荷抑制に配慮した。
その他	